SDGs新聞	株式会社星野リゾート
エコロジカルなホテル運営（星野リゾート　西表島ホテル）	

SDGsラジオを読んでみよう！

沖縄県の西表島に行ったことのある人はいますか？
美しい海と美しい森。世界自然遺産にも登録されているこの島は、人気の観光地でもあります。
星野リゾートが運営する西表島ホテルは、そんな島の自然を守るために、環境に与える影響をできるだけ小さくするよう努力しています。
その、まずひとつは、ごみを減らすこと。
客室に置いていたペットボトルのお水をやめて、ボトルのレンタルとウォーターサーバーの設置をスタートしました。
これにより、年間約14万本のペットボトルを削減し、また、使い捨てのシャンプーなども廃止して、プラスチックごみを減らしています。
ペットボトルがなくたって、ボトルを借りて、ウォーターサーバーからお水を汲めば、まったく問題ないですよね。
これまでの当たり前をちょっと見直すだけで、環境にやさしくなれる。私たちも真似してみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：イリオモテヤマネコの学校（星野リゾート公式HP）

面積約290㎢、人口約2,500人。沖縄県内で沖縄本島に次いで2番目の大きさを誇る西表（いりおもて）島。年間2,000mm以上の雨が降る、高温・多湿の亜熱帯海洋性気候で島の約90%が亜熱帯林（ジャングル）です。島のほぼ全域が西表石垣国立公園の区域になっていて、国の特別天然記念物に指定されている「イリオモテヤマネコ」をはじめとした、多くの動植物が生息・生育しています。その「生物多様性」が認められ、2021年7月から奄美大島・徳之島・沖縄島北部と共に世界自然遺産として登録されています。

画像参照：レンタルボトル（星野リゾート公式HP）

「星野リゾート 西表島ホテル（以下「西表島ホテル」）」では、「環境に配慮したホテル運営」を通して、自然環境の保護に取り組んでいます。その代表例が「ゴミの削減」です。島内には、資源ゴミのリサイクルに対応できる設備がなく、ゴミの総量を減らす必要があるため、西表島ホテルでは「２つのフリー」を実施しています。１つめが「1WAY（ワンウェイ）プラスチックフリー」です。歯ブラシやクシなどアメニティ類の提供をやめ、お客様にアメニティ類の持参をお願いしています。2つめが「ペットボトルフリー」です。これは、館内でのペットボトル飲料の販売をやめ、無料のウォーターサーバーを設置。お客様にはボトルのレンタルサービスを行っています。これらの取り組みにより、年間約38,000人分のアメニティ用プラスチック、約14万本のペットボトルを削減しています。

キーワード

世界自然遺産

価値を有する遺跡や自然地域などを、人類全体のための遺産として保護するもの。日本には現在5つの世界自然遺産があります。

1WAY

本来の意味は「片道」や「一方通行」ですが、ここでは「使い捨て」を意味する言葉です。

資源ゴミ

回収して再資源化、再利用ができるゴミの総称です。

対象ゴール

みなさんにできること！

自然環境保護と観光事業の両立について、さらに理解を深め、
なにができるか考えていきましょう。

おさらい

- 西表島は、沖縄県内で2番目に大きな島で、世界自然遺産です。
- 西表島には、資源ゴミのリサイクル設備がないため、ゴミの総量を減らす必要がある。
- ボトルのレンタルサービスを行うだけで、ペットボトルの大幅な削減につながる。

メモ

SDGs ラジオ